

○事業所名	児童・放課後デイHOPE			
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日 ～ 令和7年11月21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	令和7年 1 1 月 1日 ～ 令和7年 11月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1 2 月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども一人ひとりに合わせたきめ細やかな療育プログラムを提供している。また、5領域の支援と絡めた学びのサポートも実施している。	ご希望に応じて学校生活で困っている宿題等の学習面のサポートを、療育支援の視点から行っている。こどものペース・能力を見極め、学習サポートにより認知・行動、言語・コミュニケーション能力等の向上を図っている。	引き続きスタッフの支援能力向上のための研修を定期的の実施していく。
2	平日のサービス提供においては、こどもの参加する時間帯を数コマに分けて入れ替え制にすることにより、少人数の子どもに対して手厚い療育を行っている。	こども、保護者のニーズ、困りごとや、参加時のこどものコンディション等をしっかりと把握し、一人一人に寄り添ったきめ細やかで手厚い療育を心がけている。	こどものことを十分に理解し、特性等に応じたきめ細やかで手厚い支援ができるよう、引き続き支援能力の向上の為の研修を実施していく
3	集団と個別の両方の療育を行っている。特に土曜日の療育は課外活動やクッキングなどを行い、社会性、協調性を身につける環境を整えている。	土曜日は平日とは違い、決まったお子さんだけでなく、他曜日のお子さんも参加することにより、協調性やコミュニケーション力の向上に繋がるよう取り組んでいる。	課外活動の中でもボランティア活動や自然に触れ合うことなど色々なプログラムを用意し、様々な体験を通して良い成長に繋がるよう心がけている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室がマンション2階ということもあり、子ども達も身体が大きくなってくると活発になるので、近隣の迷惑にならないよう、子ども達の動きを制限することがある。	教室自体は認可を受けているため決して狭くはないが、集合住宅ということでご近所に迷惑にならないよう気を付けている。	教室の広さを広げることは現実的には難しい。気候の良い時期は、近くの公園で体を動かしたり、土曜日の集団活動時を利用して子ども達が思いっきり身体を動かせるプログラムを行う。
2	教室がマンションということもあり、お子さんの精神状態により、クールダウンが必要なお子さんを避難させる場所が少ない。	教室自体は認可を受けているため問題はないが、部屋数など限られてしまうので、工夫が必要になる。	教室の広さを広げることは現実的には難しい。パーテーションで区切ったり、お子さん自身が落ち着ける空間を工夫していく。
3			